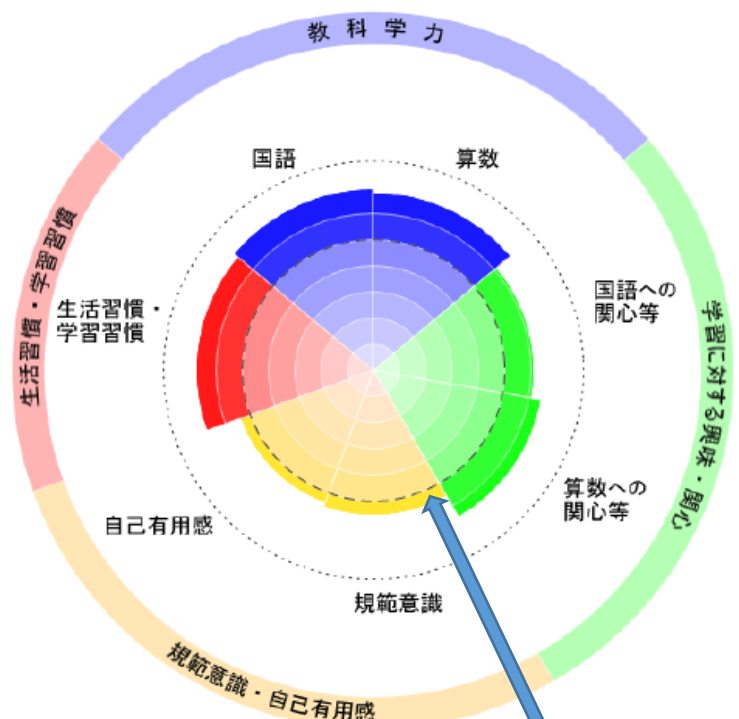
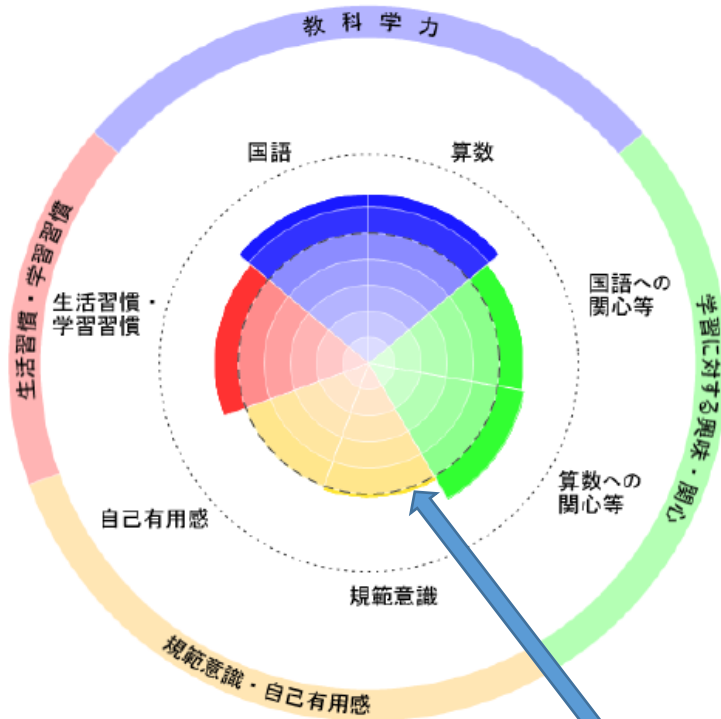


令和3年5月27日に、6年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査について、結果をまとめました。この調査結果を踏まえ、子どもたち一人ひとりの学習の様子をつかみ、今後の学習指導や授業改善に役立てていきます。

児童質問紙(全国基準)

児童質問紙(神奈川県基準)



内側の点線が全国平均

内側の点線が県平均

国語・・・正答率は全国及び神奈川県の平均を約11%上回っている。

知識及び技能、および思考力・判断力・表現力等のA話すこと・聞くこと、B書くこと、C読むことのすべての項目において、全国・神奈川県の平均正答率を上回っている。特に知識及び技能の言葉の特徴や使い方に関する事項と、思考力・判断力・表現力の書くことにおいては、神奈川県や全国の平均正答率を大きく上回っている。

一方で、神奈川県・全国も正答率の低い、目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見つける問題や、目的を意識して中心となる語や文を見つけて要約する問題は、本校も正答率が50%を下回った。

国語の指導改善のポイント

○目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つける指導の充実

「必要な情報を見つける」とは、文章の中から、目的に応じて必要な情報を取捨選択し、整理したり、再構成したりすることです。実生活において児童が触れる文章には、図表やグラフなどを含むものが多いです。学習指導に当たっては、文章中に用いられている図表などが、文

章のどの部分と結びつくのかをじっくり読ませ、明らかにしたうえで文章と図表などの関係を捉えて読むことができるようしていきます。

○目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する指導の充実

同じ文章でも、要約する目的によって内容の中心となる語や文は異なる場合があります。説明文の学習などで目的は何かを明確にすることを意識させ、必要な部分を選び、端的にまとめることができるよう指導していきます。

算数・・・正答率は全国及び神奈川県を約11%上回っている。

5つの領域であるA数と計算、B図形、C測定、D変化と関係、Eデータの活用すべてにおいて全国・神奈川県を平均正答率を上回っている。特にA数と計算に関しては、全国・神奈川県を平均正答率を約14%も上回っている。

次の問題では正答率が低かった。

・二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方と答えを書く問題

算数の指導改善のポイント

○図形を構成する要素などに着目し、面積の求め方について筋道を立てて説明できるようにする指導の充実

図形を構成する要素などに着目し、面積を求めようとする図形の辺の長さや位置関係を捉え、面積の求め方について筋道を立てて説明できるようにすることが重要です。その際、ICTを活用して求積のために必要な情報を図形から選び出す活動を取り入れて指導していきます。

質問紙調査の結果から

○国語や算数が将来役に立つ学習であることを理解して学ぶことができています。

○しっかりと朝食をとり、睡眠リズムが比較的整っているという結果から、各家庭で日々生活面での協力が得られていることが分かります。

○自分にはよいところがあり、将来の夢や目標を持っている児童が多いです。